

▼毎日が発見だった柳川での生活はまるで宝島



あっという間の3年間 柳川はまるで宝島

皆さん、こんにちは。早いもので、地域おこし協力隊としての私の任期は残り1カ月となりました。

東京に住んでいたころは、東京が経済の中心で、「最新テクノロジーを扱う生活が最も優れた生活」だと考えていました。そんな私の価値観を大きく変えたのが、柳川での生活です。

柳川での3年間、農業や水産に関わる経験をたくさんすることができました。その中で「生産者がいなければ日本経済は維持できない」と実感しました。柳川には農水産物をはじめとする豊富な資源、生産者の知恵や技術など、東京に無い物がたくさんあります。これらの宝物を全国にもっと自慢していいと思います。大げさではなく私にとって柳川は宝島のようなものでした。

最後になりますが、3年の任期を無事に務めることができたのは、多くの柳川市民に支えられたからです。本当にありがとうございました。

おこし隊を卒業後も、引き続き柳川に定住します。数年後には、「元地域おこし協力隊が柳川の役に立った」と言われる日が来るように頑張ります！



福永 純一 (51歳)

【プロフィール】市観光課に所属。「福岡有明のり」PR および新たな商品開発を担当